

# 再構築される米・中東関係

上席主任研究員 阿部 賢介

米・イスラエルとイランの戦争が、湾岸諸国に与えている影響は、ホルムズ海峡封鎖や化石燃料生産設備などへの物理的損害だけではない。今後のグローバル金融や国際社会の環境を大きく変える構造的な変化をももたらす可能性がある。

## ペトロダラー体制の綻び

中東産原油は、元々米石油メジャーが独占していたことや、1974年にキッシンジャー大統領補佐官（当時）がサウジアラビアと結んだ密約（\*）により、米ドルが唯一の取引通貨だった。このため、世界各国は原油購入のためにドルを保有し、中東の産油国は獲得したドルで米国債を購入することを半ば強いられてきた。こうした「ペトロダラー」が自動的に米国に還流するメカニズムはドルを安定させ、米主体が比較的低利で資金調達できる一因となってきた。近年では一部の国が金融制裁回避などを目的に外貨準備に占めるドル比率を低下させているが、中東で原油輸出が阻害されペトロダラーの創出とその還流が縮小すれば、ドル資産の保有意欲はさらに損なわれる恐れがある。中東産油国はペトロダラーを原資に約5兆ドルにも及ぶソブリンウェルスファンド（SWF）を運用しており、米テック大手などへの出資を行ってきた。原油収入の不安定化は、こうしたSWFの運用に支障をもたらし、先行き取り崩し（米ドル資産売却）に発展するリスクさえある。イラン情勢の直接的な影響かは不明だが、報道によれば、一部中東SWFで合意済みの資金拠出に遅れが出ている模様。

（\*）1974年、米国がサウジアラビアへ軍事的保護と武器売却を供与する代わりに、原油の取引を全て米ドルで行うことに合意したもの。

## 米国を揺さぶるアラブ首長国連邦（UAE）

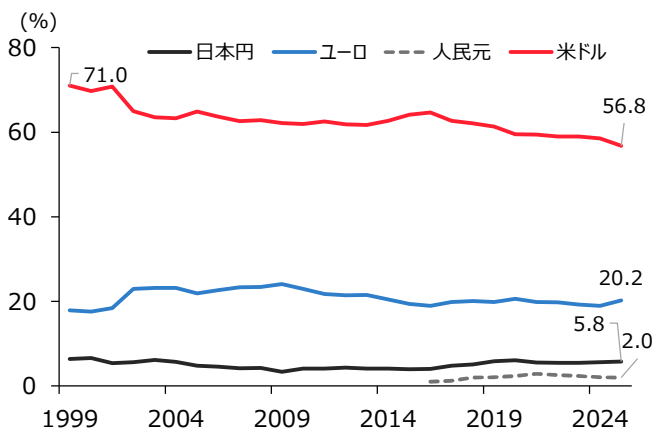
UAEが5月に、サウジアラビアが主導する石油輸出国機構（OPEC）を脱退したことも、イラン情勢の影響と言える。以前よりOPECの運営にUAEが不満を抱いていたのに加え、イエメンやソマリアなどで、サウジアラビアとUAEが支援する勢力同士の争いが続いており、両国の関係は悪化傾向にあった。今般、イラン情勢により両国とも財政収入の急減が見込まれるが、正常化後の収入回復の過程ではOPECが合意している増産制限が争点になることが予想される。特に財政均衡のための原油価格がサウジアラビアよりも低いとされるUAEとすれば、多少価格が安くても生産量引き上げを優先したいという思惑もあろう（\*\*）。UAEが稼働率を引き上げれば約1百万バレル/日が追加で市場に供給されるという推定をもとに、長期的な原油価格に影響するという観測もある。またUAEは、ドル不足を回避するため、米国に対し通貨スワップ協定を求める一方、原油取引に人民元などの通貨を利用することに言及し、米国にゆさぶりをかけているとも言われている。

（\*\*）国際通貨基金（IMF）によれば、2026年の財政均衡原油価格はサウジアラビアが\$86.6/バレルに対し、UAEは\$45.2/バレル。

## 中東における安全保障の環境変化が他国・地域に伝播する可能性も

米国の理想は、中東において軍事的プレゼンスを縮小させるも、経済的には影響力を残すことだ。しかし今般、軍事的には再度米軍を集結させ、経済面ではペトロダラー体制の綻びを加速させるといった逆の状況に向かっている。またイランからの攻撃を受けたことで、サウジアラビアなど湾岸諸国は、自国の安全保障政策の再考を迫られている。紛争の帰結次第では、米国の軍事/経済的影響力はさらに低下する恐れもある。他方、UAEが独自路線を強めたのは、米国を後ろ盾としてサウジアラビアに対抗する意図があるとの見方もあり、紛争後の域内勢力を巡る駆け引きは既に始まっている。

▽世界外貨準備高の通貨別割合



（出所）IMFより丸紅経済研究所作成

▽主な中東ソブリンウェルスファンド（SWF）

ファンド名	国	推定資産運用額 (億ドル)	近年の主な投資、撤退の動き
Public Investment Fund (PIF)	サウジアラビア	11,500	25年9月に米ゲーム開発会社Electronic Artsを総額550億ドルで買収。26年5月、超高額ゴルフツアー-LIVツアーへの支援を打ち切り。
Qatar Investment Authority	カタール	6,000	25年10月、独大手化学メーカー-BASFのコーティング事業を、総額77億ユーロで米投資ファンドのカーライルと共同買収。
Mubadala Investment Company	UAE	3,850	26年3月、傘下のアルミ大手EGAがイランからの攻撃により損害。完全復旧に約1年。 26年4月、ブラジル向けファンドに対し追加出資し、総額9億ドルまで引き上げ。
L'imad Holdings	UAE	3,000	26年2月PIF、QIAと共に、米パラマウント・スカイダンスのワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー買収に対する資金を提供（3ファンドで240億ドル）。

（出所）各種報道、各SWF公開情報より丸紅経済研究所作成

(執筆者プロフィール)

**阿部 賢介** (Kensuke Abe)

abe-k@marubeni.com

上席主任研究員

研究分野：米国、中南米、中東・アフリカ全般

2005年から08年三菱商事（株）勤務。2010年に丸紅に入社し、金属部門を経て、2016年に丸紅経済研究所。2016年から17年米国・戦略国際問題研究所（CSIS）出向。2021年から現職。神戸大学国際文化学部卒、台湾・国立政治大学台湾史研究所修了。

---

## 株式会社丸紅経済研究所

〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目4番2号

<https://www.marubeni.com/jp/research/>

(免責事項)

- 本資料は公開情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、相当性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰属するもので、当社は何らの責任を負うものではありません。
- 本資料に掲載している内容は予告なしに変更することがあります。